



毎月十五日発行 社会 宗像 大像 事務所 福岡県宗像郡玄海町 電話 0940-62-1311(代) http://www.munakata-taisha.or.jp/ 定価 一年送料共 1000円

神具・装束 結核式場用品 株式会社 井筒 福岡市博多区東公園二丁目812(0945) 電話 福岡094-511945(六番) 本店 京都市下京区沖小幡六条北入(075)600-8231 電話 京都075-341134(代) 電話 三四三三三四(一) 三四三三三四(一) 三四三三三四(一) 三四三三三四(一)

木組の家 匠の技 総合建設業 株式会社 弘江組 事務所 811-3406 福岡県宗像市大字福元二〇二五 電話 (0940) 311-1567

西郷隆盛は、拜金主義的になる日本を憂いて「子孫に美田を残さず」という言葉を残したが、古代より、「子孫に美田を残さず」という言葉は、日本人の基本的信条であったように思う。 我々の祖先は「豊葦原の瑞穂の国」という稲作を中心とした豊かな国の実現を目指し水田を広げていった。葦の茂る湿原には、排水路を、水のない台地には灌漑水を引き、山間のわずかな土地には石垣を築き水田を拓いてきた。 その歴史の中で、幾度となく大干ばつ、大洪水等の大自然の猛威を経験し、人々は共同体の中で対応してきた。 中津市の鶴市神社の御祭神 鶴・市太郎母子は、約八百年前、山国川の堰工事の「人柱」となり、洪水で苦しむ村を救った。鶴市その遺徳を偲び、鶴市花傘祭りとして、毎年八月、沖代平野の水田帯を巡る、盛大な祭りが行われている。 日本、中国の万里の長城に匹敵するといわれている。全国各地には、先人達の苦勞の跡が多く残され、今もその遺徳が語り継がれている。現在、グローバル化という流れの中、米の輸入自由化、政府の減反政策、農村の過疎化等に伴い、今は「子孫に美田を残さず」と、なりつつある。(H.W)

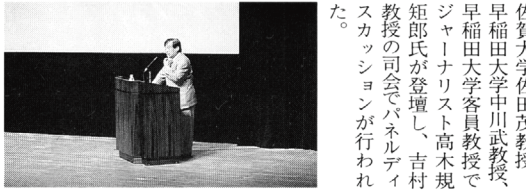
「沖ノ島」を世界遺産にプロジェクトスタート

吉村作治早大教授らも提唱



先月紙上でお知らせした「シンポジウム海の正倉院・沖ノ島」が十一月十三日(水)午後六時から、沖ノ島シンポジウム実行委員会(宗像市・玄海町・大島村・早稲田大学理工学総合研究センター九州研究所内「世界遺産の保存と活用計画の研究」プロジェクト、RKB毎日放送など)主催で、宗像ユリックスホールで開催された。

二〇〇人が参加した。第一部構成からなり、まず第一部ではエジプト学研究者の世界的に著名な、早稲田大学吉村作治教授の基調講演が行われた。 教授は九州の史跡・文化財を歴訪されているなかで、「沖ノ島」という島の存在することを耳にされ、今年五月二十七日の現地大祭に沖ノ島に渡鳥された。



「沖ノ島は世界遺産に登録される条件というものを十分に充たしている」と話され、現在に至る経緯を説明。 二〇〇席ある座席はすべて満席、立ち見が出る程の大盛況で約七

先ず、第一次・三次までの沖ノ島発掘調査隊全てに参加し、三次調査では副隊長を務められた小田教授、第二次調査に参加され、古墳時代が専門の佐田教授が、沖ノ島学術調査と、祭祀遺跡からの出土品について説明された。

続いて太田宮司が、宗像大社沖津宮が鎮座され、当大社の境内地である「沖ノ島」を、護持する側の立場から意見を述べた。 特に沖ノ島はバルテノン神殿・アンコールワット等の既に信仰が途絶えた遺跡ではなく、四世紀以来現在に脈々と続く、信仰の対象であるという点。 当大社が沖ノ島(沖津宮) 筑前大島(中津宮) 玄海町(辺津宮)

の三宮を総称して「宗像大社」と称する「三宮一体」の精神を述べた。 続いて、ベトナム・フエ・ユネスコ会議国際委員を務められ、日本政府のアンコール遺跡救済の三宮を総称して「宗像大社」と称する「三宮一体」の精神を述べた。

日本を動かさないと世界には伝わりません。またこの話は二・三年で済む話ではなく、最低でも五年から十年のプロジェクトです。皆様共力を合わせ、がんばりましょう」とまとめ、大盛況のうちに閉会した。 尚このシンポジウムの模様は、RKB毎日放送で正月三日(四日)の深夜午前二時~四時に放映の予定です。

世界遺産とは

一九七二年の第十七回ユネスコ総会で採択された「世界遺産条約」に基づく「世界遺産リスト」に登録された、世界中の自然や文化のことで、「国境・民俗・世代を超えた文化財・自然環境を、未来の世に引き継いでいくべき、人類共通の宝物」を指す。 世界遺産は「文化遺産」「自然遺産」の両方に該当する「複合遺産」に分類され、厳格な保護の対象となる。

登録地には、原爆ドーム(アメリカ・ガラバゴス諸島(エクアドル) カナディアンロック(フランス・フィレンツェ歴史地区(イタリア)・パチカン市国・バルテノン

ランドキヤニオン国立公園(アメリカ・カラバゴス諸島(エクアドル) カナディアンロック(フランス・フィレンツェ歴史地区(イタリア)・パチカン市国・バルテノン

はまた一件もない。世界でも少なくマチュピチュ(ペルー)・アンコール(カンボジア)などである。 また損傷が激しく、一刻も早い保護・修復が必要とされる「危機遺産」に指定されるものもあり、エルサレムの旧市街とその城壁(ヨルダン)・アンコール(カンボジア)などが指定されている。 世界遺産の数は、文

化遺産が五二九、自然遺産一三八、複合遺産二三で総数六九〇(二〇〇〇年十二月現在)となっている。 世界遺産物件を有する国は、二二カ国で地域別みると、ヨーロッパ(三二)、アジア(一四)、アメリカ(八)、オセアニア(一八)と欧米地域に圧倒的に多い。勿論遺産が集中しているわけだが、他の地域は法的整備が整っていない、経済的な理由等で登録されない遺

産があるとも考えられる。 経済的といえ、二〇〇〇年の負担金(現在一六七の加入国で分担)では、なんと六八万ドル(一位)・二億ドル(二位)のイタリア(二〇〇万ドル)の三倍以上を負担している。以下三位イギリス(一八七万ドル)、四位カナダ(一〇〇万ドル)、五位スペイン(九五万ドル)六位オランダ(六万ドル)となっている。

十月十七日秋分恒例の表千家(不審庵)家の元直々の奉仕による献茶祭が行われ、県内はもとより山口・九州各県の間門会員をはじめ茶道に勤しむ人々々が女性達で華やかな姿の参列して華やかな雰囲気になりました。 この献茶祭は、昭和三十七年当時の宗像大社復興期会長長出光佐三氏の御尽力により実現し、伊勢の神宮の三節祭の中でも最も重儀である「神嘗祭」当座に着座し祭典が始まりました。 齋主が祝詞を奏し、続いて献茶の儀が行われた。千宗左宗匠は拝殿に設けられた風炉前に端座し、切柄約さばきも鮮やかな「動と静」とが見事に調和した、淀み一刻を過ごした。

日あたると十月十七日の慶日に、第十三代表千家元即中斎千宗左宗匠が初めて奉仕されて以来、今日まで停ることなく続けられ、今回で三十九回目を迎えた。 定刻十一時太鼓を合図に奉仕神職、第十四代表千家元元即中斎千宗左宗匠以下介添の家元関係者、出光興産株式会社名誉会長出光昭会氏外役員、同門会関係者は被舎にて献茶を受け本殿へ参進、所定の座に着座し祭典が始まりました。 齋主が祝詞を奏し、続いて献茶の儀が行われた。千宗左宗匠は拝殿に設けられた風炉前に端座し、切柄約さばきも鮮やかな「動と静」とが見事に調和した、淀み一刻を過ごした。



静寂な時は流れて 日あたると十月十七日の慶日に、第十三代表千家元即中斎千宗左宗匠が初めて奉仕されて以来、今日まで停ることなく続けられ、今回で三十九回目を迎えた。 定刻十一時太鼓を合図に奉仕神職、第十四代表千家元元即中斎千宗左宗匠以下介添の家元関係者、出光興産株式会社名誉会長出光昭会氏外役員、同門会関係者は被舎にて献茶を受け本殿へ参進、所定の座に着座し祭典が始まりました。 齋主が祝詞を奏し、続いて献茶の儀が行われた。千宗左宗匠は拝殿に設けられた風炉前に端座し、切柄約さばきも鮮やかな「動と静」とが見事に調和した、淀み一刻を過ごした。

静寂な時は流れて 日あたると十月十七日の慶日に、第十三代表千家元即中斎千宗左宗匠が初めて奉仕されて以来、今日まで停ることなく続けられ、今回で三十九回目を迎えた。 定刻十一時太鼓を合図に奉仕神職、第十四代表千家元元即中斎千宗左宗匠以下介添の家元関係者、出光興産株式会社名誉会長出光昭会氏外役員、同門会関係者は被舎にて献茶を受け本殿へ参進、所定の座に着座し祭典が始まりました。 齋主が祝詞を奏し、続いて献茶の儀が行われた。千宗左宗匠は拝殿に設けられた風炉前に端座し、切柄約さばきも鮮やかな「動と静」とが見事に調和した、淀み一刻を過ごした。

第三十二回

西日本菊花大会

内閣総理大臣賞に長谷川良治氏



少なかったが、ハスモンヨトウやタバコガ等による被害が多く見受けられ、防除に大変苦勞されたと思います。しかし十月の高温暖向で観賞菊品種の花蕾発育は順調に推移し、ほぼ例年通りに仕上げられた作品が多かったとの発表があった。

西日本最大の菊の祭典「西日本菊花大会」(主催)宗像大社菊花会、玄海町観光協会、後援福岡県他)が、十一月一日から二十三日の期間で、当社社内で会場に開催され、連日多くの参拝者で賑わった。

う人々の目を大いに楽しませていた。出品は大輪・盆栽・懸崖・特作・九州山口各県対抗大輪補助特別競技の五部門に分かれ、各々非常に厳しい出品基準、審査基準により作品の競技がなされた。審査は福岡県農業総合試験場園芸研究所長小林泰生氏を審査長として、五名の審査員と二名の審査補助員で行い、①総合的な美しさ②花色・花容・莖葉の損傷③鉢の配列・調和について厳正に審査された。

- 文部科学大臣賞 懸崖部門 海藤義太郎 春日市 総務大臣賞 櫻木 為生 田川市 財務大臣賞 石橋 善治 福岡市 外務大臣賞 馬場園 馨 宗像市 特作部門 初井 弘巳 嘉穂郡 厚生労働大臣賞 田中 祐成 佐世保市 宮地 隆治 武雄市 経済産業大臣賞 木下みつ子 大野城市 国土交通大臣賞 大輪部門 鳥巢 敬次 八女市 環境大臣賞 田中 昭治 前原市 内閣官房長官賞 特作部門 永田ツルミ 宗像市 防衛庁長官賞 千々和正信 八幡西区 衆議院議員山崎拓賞 懸崖部門 田畑 実志 八幡東区

- 九州花卉卸売市場連合会長賞 小森 一平 門司区 妹川 尚生 佐賀県 池田 昭 八幡西区 伊藤 武教 朝倉郡 高地 茂敏 福岡市 馬場 正晴 長崎県 石原 睦生 福岡市 三浦 俊美 田川郡 波多野松男 八幡西区 九州農政局長賞 舩越 順一 大野城市 福岡県知事賞 田中 和夫 水巻町 石谷 勲 田川郡 真崎 憲 宗像市 佐賀県知事賞 初井 藤子 嘉穂郡 熊本県知事賞 山口 勝喜 佐賀県 熊本市知事賞 下田 一義 宇土市 長崎県知事賞 田中 祐成 佐世保市 福岡県議会議長賞 櫻木 勝藏 甘木市 松尾 常喜 大野城市 初井 弘巳 嘉穂郡 古川 清茂 佐賀県 福岡県町村議会議長賞 田中 正一 甘木市 赤金 国弘 水巻町 御田 良知 太宰府市 福岡県町村議会議長賞 内田 雲二 甘木市 生武 静男 鳥栖市 山田 進 直方市 福岡県教育委員会賞 福岡県教育委員会賞 石橋 善治 福岡市 林 長四郎 直方市 平島 清 山田市 全日本菊花連盟賞 松野 正徳 小倉南区 許斐 保 飯塚市 九州・山口花卉園芸連絡協議会長賞 重松 勝善 筑紫野市 境 正 宇土市 富原初野 宗像市 石原 睦生 都城市

- 九州花卉卸売市場連合会長賞 小森 一平 門司区 妹川 尚生 佐賀県 池田 昭 八幡西区 伊藤 武教 朝倉郡 高地 茂敏 福岡市 馬場 正晴 長崎県 石原 睦生 福岡市 三浦 俊美 田川郡 波多野松男 八幡西区 九州農政局長賞 舩越 順一 大野城市 福岡県知事賞 田中 和夫 水巻町 石谷 勲 田川郡 真崎 憲 宗像市 佐賀県知事賞 初井 藤子 嘉穂郡 熊本県知事賞 山口 勝喜 佐賀県 熊本市知事賞 下田 一義 宇土市 長崎県知事賞 田中 祐成 佐世保市 福岡県議会議長賞 櫻木 勝藏 甘木市 松尾 常喜 大野城市 初井 弘巳 嘉穂郡 古川 清茂 佐賀県 福岡県町村議会議長賞 田中 正一 甘木市 赤金 国弘 水巻町 御田 良知 太宰府市 福岡県町村議会議長賞 内田 雲二 甘木市 生武 静男 鳥栖市 山田 進 直方市 福岡県教育委員会賞 福岡県教育委員会賞 石橋 善治 福岡市 林 長四郎 直方市 平島 清 山田市 全日本菊花連盟賞 松野 正徳 小倉南区 許斐 保 飯塚市 九州・山口花卉園芸連絡協議会長賞 重松 勝善 筑紫野市 境 正 宇土市 富原初野 宗像市 石原 睦生 都城市

- 要 博文 遠賀町 園田 秋博 宇土市 松尾シゲ子 大野城市 遠賀郡町長会長賞 池上 福元 門司区 竹下 チヲ 宮崎市 戎井 宣雄 宮崎市 大島村長賞 藤井 千秋 大野城市 緒方 迪吉 宇土市 久保 秋男 粕屋郡 川崎 新一 宮崎市 見城 秀樹 大野城市 大塚 孝二 大分市 玄海町観光協会賞 松本 文雄 大野城市 見城 芳子 大野城市 若方 慶子 大野城市 若下 宗則 大分市 宗像大社菊花会会長賞 堀川 栄 宇土市 宗像市学習ネットワーク 宗像市 宗像市学術ネットワーク 宗像市 堀川 良晴 宮崎市 梯 直義 太宰府市 宗像農業協同組合会長賞 井手 直義 小倉北区 鈴木 輝夫 小倉北区 岡田 禎子 大野城市 松内 英明 宇土市 玄海地区商工連長賞 竹下 次男 宮崎市 津屋崎町商工会会長賞 後藤 勝利 大分市 宗像市商工会会長賞 岡田聡七郎 大野城市 福岡町商工会会長賞 山本 義雄 水巻町 玄海町商工会会長賞 関本紘一郎 嘉穂郡 大島村商工会会長賞 石丸 五年 鳥栖市 宗像大社氏子会会長賞 永島 中江 宗像市 田中 和夫 水巻町 寺下 政國 鳥栖市 宗像ライオンスクラブ賞 酒井 忠男 嘉穂郡 花田 憲一 若松区 高島登美子 遠賀町 見崎 久義 大分市 玄海ホテル旅館組合賞 松尾 勇 佐世保市 安永儀三郎 若松区 松尾 正勝 直方市 成田カオル 水巻町 廣末 啓子 宗像市 岸本 敏彦 若松区



- 宗像大社菊花会会長賞 堀川 栄 宇土市 宗像市学術ネットワーク 宗像市 堀川 良晴 宮崎市 梯 直義 太宰府市 宗像農業協同組合会長賞 井手 直義 小倉北区 鈴木 輝夫 小倉北区 岡田 禎子 大野城市 松内 英明 宇土市 玄海地区商工連長賞 竹下 次男 宮崎市 津屋崎町商工会会長賞 後藤 勝利 大分市 宗像市商工会会長賞 岡田聡七郎 大野城市 福岡町商工会会長賞 山本 義雄 水巻町 玄海町商工会会長賞 関本紘一郎 嘉穂郡 大島村商工会会長賞 石丸 五年 鳥栖市 宗像大社氏子会会長賞 永島 中江 宗像市 田中 和夫 水巻町 寺下 政國 鳥栖市 宗像ライオンスクラブ賞 酒井 忠男 嘉穂郡 花田 憲一 若松区 高島登美子 遠賀町 見崎 久義 大分市 玄海ホテル旅館組合賞 松尾 勇 佐世保市 安永儀三郎 若松区 松尾 正勝 直方市 成田カオル 水巻町 廣末 啓子 宗像市 岸本 敏彦 若松区

古式祭の御案内
八百年以上の伝統をもつ、宗像大社「古式祭」の季節がやってきました。先ず本殿で「祭典」が斎行され、その後一座五十名ずつの「お座」が、清明殿で行われます。お座では、蜜柑の原種である「九年母」、玄海町江口の浜での時期にしか採取できない「ゲバサ藻」、すば「福徳の薬」を挿したご飯など、現代ではなかなか口にすることの出来ないお膳をいただきました。また「福引き」も行われ、翁面や御神盃などが授与されます。宗像大神様と共に今年の五穀豊稔に感謝し、喜びを分かち合う、「神人和楽」の集いに振るって御参加ください。



一、日時 十二月十五日(日曜日)
一、場所 祭典 午前六時
お座 午前六時三十分
一、お座料(二名分) 金一、〇〇〇円
一、お座 清明殿

玄海中学校で浦安舞

教育総合推進事業実践発表会にて



女子生徒四名が浦安舞を披露した。玄海中学校は平成十二年、浦安舞が舞われた。当日は当大社神職三名、巫女二名の五名が出演。昨年はテープでの演奏であったが、今年には生演奏で行われ、十二単を身にまとった優雅な舞に観客が見入っていた。

当大社では毎年春秋の大祭で、同中学校二年生の女子四人が浦安舞を奉納している。大祭が近づくと、放課後自転車で大社まで通い、巫女の指導を受け、このスタートで少々こちなまもあるが、当大社一大神事である秋季大祭では、練習を重ね自信を持って堂々と立派に舞う。

このすばらしい舞を是非全校生徒の前で、昨年初めに同文化祭で舞われた。今年はこの玄海町独自の試みをもっと広くの方に知ってもらおうと、この発表会でも舞った。

ご覧になった教育関係者の感想を聞くと、「学校・家庭・地域・行政が一体となったすばらしい取り組み。全国、福岡県はもとより、東宝の看板女優として活躍され、昭和四十四年大蔵主計局長だった相沢英之氏(現)衆議院議員)と結婚された。一時休業。

カムバック後は、夫を支え家庭と両立させながら、財団法人大正村長を務め、舞台公演を中心に活躍されている。

女優 司葉子さん参拝

つかさ



十月三十日宗像大社のお膝元、玄海中学校で開催された実践発表会にて、同中学校二年生

「教育総合推進事業実践発表会」の指定を受け、文部科学省の「教育総合推進地域実践交流会」が、今年はそのまどめの年。事業の集大成としての発表会

「実践発表」、「アトラクション」、「シンポジウム」等、終日同中学校在場開催された。そのオープニングセレモニーの中で、浦安舞が舞われた。

当日は当大社神職三名、巫女二名の五名が出演。昨年はテープでの演奏であったが、今年には生演奏で行われ、十二単を身にまとった優雅な舞に観客が見入っていた。

当大社では毎年春秋の大祭で、同中学校二年生の女子四人が浦安舞を奉納している。大祭が近づくと、放課後自転車で大社まで通い、巫女の指導を受け、このスタートで少々こちなまもあるが、当大社一大神事である秋季大祭では、練習を重ね自信を持って堂々と立派に舞う。

このすばらしい舞を是非全校生徒の前で、昨年初めに同文化祭で舞われた。今年はこの玄海町独自の試みをもっと広くの方に知ってもらおうと、この発表会でも舞った。

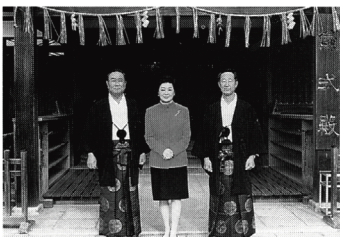
ご覧になった教育関係者の感想を聞くと、「学校・家庭・地域・行政が一体となったすばらしい取り組み。全国、福岡県はもとより、東宝の看板女優として活躍され、昭和四十四年大蔵主計局長だった相沢英之氏(現)衆議院議員)と結婚された。一時休業。

カムバック後は、夫を支え家庭と両立させながら、財団法人大正村長を務め、舞台公演を中心に活躍されている。

境内で菊花の咲き誇る十一月十五日正午過ぎ、女優の司葉子さんが来社された。

福岡ドームで開催されている「国際ラン博覧会」開幕式に、司葉子さんは「弁財天(雲能の神)としても崇敬が厚い、辺津宮の御祭神「市杵島姫命」様のもとに参拝することができ長年の夢を叶えられた。

司葉子さんは「弁財天(雲能の神)としても崇敬が厚い、辺津宮の御祭神「市杵島姫命」様のもとに参拝することができ長年の夢を叶えられた。



司葉子さんと参拝した人々

決断力 その時昭和の経営者たちは

出光興産株式会社 出光佐三店主

「ゼロからの再出発」③ 瀧口凡夫

「廃油回収」で 不屈の社風

山陽新幹線の降り列車が徳山駅(山口県)に入るとき、左手に精油所と石油化学の工場が見える。線路わきに二キロあまり続くグリーンベルトと明るい色の工場群との対照が美しい。工場の向こうは徳山湾である。

ここは出光にとって、二重の意味で記念すべき場所である。

ひとは、全国に五ヶ所ある出光の精油所の中で最初に完成した、ということである。

出光は徳山ができたとき、念願の石油精製工場がたつた。

もうひとつは、敗戦によってどんな底にたたき落とされた出光が、従業員たちの一致協力の努力で不死鳥のように石油業界に復帰し発展した、そのシンボルとも言うべきタンク底廃油回収作業の現場が、ここにあるからである。

タンクは旧海軍の徳山燃料廠のものであった。敗戦で出光に残ったのは、二百六十五万円の借金と約一千人の従業員であった。事業所はほとんどは海外だっただけに、失った事業資金は大きかった。

佐三はこのとき六十歳。まずは、つぎつぎと引き揚げてくる従業員たちを食べさせなければならぬ。

戦前の国内での実績をもとに石油配給業務に戻ろうとしたが、これは業界から断られた。暴れん坊 出光が戻ってくることは業界の望むところではなかった。このころ出光が手がけた事業は、驚くほど多岐にわたる。

農場の経営、醤油、食酢の製造、定置網漁業、印刷業などである。しかし、帰ってくる従業員全部をまかなうことが出来なかった。旧海軍でさえ手を付けきれなかった危険な作業である。合計約二百人の社員がタンク底に入った。

雑炊やイモ、カボチャで空腹をしのぎ、ふんどし一貫の身体にロップを巻きつけて底に降り、バケツに汲んだ廃油をワインチで巻きあげた。

これも赤字だったが、従業員に不屈の精神が植えつけられ、協力一致の体制が固まった。総司令部も政府も出光を見直した。これが、のちの事業展開につながっていく。

徳山のタンク群のありさまは、いま広大な周南緑地公園となっている。四五年五月十日、B-1元爆撃機約三百機の連続爆撃で戦死した軍人の遺骨は二百九十七人の供養塔は製油所のグリッドペルトの中にある。命日には毎年、追悼法要が行われる。



タンク底廃油回収作業 (1946年徳山)

田 島 森 つるの海の花火の音はみあれ祭波止に着かれし時刻なるらし

津屋崎 佐々木和彦 紅葉のあるき水面をただ一度乱して沈みし緋鯉の居たり

田 野 森 甲子 苔生ふる桜並木をひとりゆく残り葉散りぬ秋月の旅

池 田 小田 イセ 輪取りて身幅のあまる吾が着物焼かんとすれど思い出の頭つ

曲 天野 玲子 魂が吸ひこまるる程すき透る草笛の音に我を忘れぬ

朝 野 藤井 浩子 もう二度と参ることなき竹生鳥の石段多き芥財天拜む

日の里 大和美由紀 神牛も番号札を耳に付け花車曳く出番待ちを病む子思へり

福 間 香月 照子 華やかに生き壮絶に散りし友しぐれの中をむかう齋場

福 間 中村 勇 又一足地下足袋を買ひ畑に出る足袋破るまで体の持つか

日の里 石松 知子 まなかに朝夕望む許 斐山老いの眼にやすらぎを見す

名古屋 小田 留子 今掃きし庭に散りしく 柿落葉虫くもあり枯れし葉もあり

第四九七回 宗像大社歌会詠草 大野展男 選 毎月25日、切

のとき全国に配置した支店、営業所はその後石油業界に復帰したとき、多くが販売拠点となつて生れ変わった。佐三の用意周到さをうかがわせるエピソードである。

旧海軍の燃料タンク底に残った廃油の回収作業は、四六年四月から翌年七月まで徳山など全国八ヶ所で行った。総司令部の指示であった。

旧海軍でさえ手を付けきれなかった危険な作業である。合計約二百人の社員がタンク底に入った。

雑炊やイモ、カボチャで空腹をしのぎ、ふんどし一貫の身体にロップを巻きつけて底に降り、バケツに汲んだ廃油をワインチで巻きあげた。

これも赤字だったが、従業員に不屈の精神が植えつけられ、協力一致の体制が固まった。総司令部も政府も出光を見直した。これが、のちの事業展開につながっていく。

徳山のタンク群のありさまは、いま広大な周南緑地公園となっている。四五年五月十日、B-1元爆撃機約三百機の連続爆撃で戦死した軍人の遺骨は二百九十七人の供養塔は製油所のグリッドペルトの中にある。命日には毎年、追悼法要が行われる。

宗像大社歌会 俳句作品集 四七二

花つて威を張る秋の
野草かな
福間 森 清

東郷 田中 憲象
天津空秋の地して卵か
な

光岡 井上 嘉治
稲刈りの終えて土の匂
いかな

百合一つ十字架の像を
拝み居り

光岡 白土 凌一
バスハイタクスモス楽
し能古鳥

夕やけの枯葉くすさび
たし

東郷 吉武 湧泉
神群祭神三女の放生会

東郷 吉田 杏子
たまゆらの如く秋蝶翔
びゆきぬ

東郷 三浦美千代
定家忌や墨する人は物
云はず

東郷 田中 雨葉
鳩金鶏金ありて山家や
蕎麦の花

東郷 木原 房子
枯蟬螂羽根に緑を残し
をり

東郷 細川 絹子
今朝掃きし庭に早散る
柿落葉



(続) 浜の寄物

172

いしいただし

この号が出る頃には
漂着物学会も終了し、
私もほっと一息ついて
いることであろう。

学会では椰子を中心
物の展示をおこなった。
今回は「玄界へどん
ぶらこ」とサブテーマ
がついていたので、
「どんぶらこ」のイメ
ジは椰子が一番と思い
椰子をメインに展示を
した。

二〇〇四年の国民文
化祭は福岡県が開催県
で、各市町村がテーマ
を決めて行うが、古賀
市は漂着物をテーマに
とりあげる。全国から
各種の漂着物を集めて
展示しようと考えてい
る。

鳥浜貝塚のココは漂
流れる日本海側の浜
で四個体分を拾った。
少し時代が下がるが、
縄文時代中期約四〇〇
年前、黒潮本流の太
平洋側、千葉県銚子の
粟島台の縄文人も漂着
した椰子を拾っている。
銚子人は堅い殻(内果
皮)を加工して容器を
作っている。



すべては伊良湖よりはじまった

鳥浜貝塚のココは漂
着物として実証出来る
最古のものであるうし、
日本人が椰子を手にし
た最初といっている。
縄文時代のものは、
今の展示で、福岡市
埋蔵文化財センターか
ら借りてきた。弥生時
代中期後半期ごろの比
恵遺跡から発掘された
もので高さ十二センチ。
現在の比恵遺跡は海
岸から少し離れている
が、弥生時代頃には、
博多湾も深く入りこん
でいたであろうし、博
多古園を見ても明瞭で
ある。

ココヤシを拾った弥
生人は、冬の荒れた時
浜を埋めつくす海藻や
流木、そして魚介類を
労せずして拾えるため
と私はそんな事を考え
てみた。

鳥浜貝塚のココは漂
着物として実証出来る
最古のものであるうし、
日本人が椰子を手にし
た最初といっている。
縄文時代のものは、
今の展示で、福岡市
埋蔵文化財センターか
ら借りてきた。弥生時
代中期後半期ごろの比
恵遺跡から発掘された
もので高さ十二センチ。
現在の比恵遺跡は海
岸から少し離れている
が、弥生時代頃には、
博多湾も深く入りこん
でいたであろうし、博
多古園を見ても明瞭で
ある。

この中に一体何を入
れたのか、穀物の種子
だったのか、呪い用の
塩などを入れたのだら
うか、薄暗い堅穴住居
の隅に吊るされていた
と私はそんな事を考え
てみた。

永正八年(一五
一一)、福岡町西
郷出身の社職兼武
將河津民部少輔興
光が、大内義興の
命により京都洛北
岡山の合戦の際、
深手を負って倒れ
てしまひ、死の淵
に着こうとした時、
突然巨大ななまずが現
れて興光の命を救った。
これは西郷の氏神、大
森の神様に違いないと
感謝し、以来西郷では
なまずを神の使いとし
て大森宮に祀り、「な
まず禁食令」を出して
大切にしたと言われて
いる。

話題の新車紹介 ②8

ダイハツ「ムーブ」

軽自動車を変えさせ
た九十八年の軽新規格
導入から早や四年。ワ
ゴンR・ライフ・プレ
オというライバル達が
マイナーチェンジでリ
フレッシュする中、ダ
イハツ「ムーブ」が先陣
を切ってフルモデルチェ
ンジしました。

このムーブは今や
「ミラ」に代わるダイ
ハツ軽の中心車種で、
販売のトップを争っ
ています。フルモデルチェ
ンジ直前の九月でも、
一万八九六台を販売
する人気車で、ダイハ
ツ念願の軽自動車ナン
バーワンシェア達成の
キートンモデルです。

① ムーブと
ムーブカスタム
旧型同様に落ち着い
た雰囲気。ムーブと、
ワイルドかつスポーティ
なムーブカスタムとい
う二つのキャラが与え
られています。

② 軽自動車最速の出足
最速(〇～一〇〇メートル
はダイハツ「マツ
クス」(三・二五秒)
でしたが、新ムーブは
トルク特性の見直しで、
三・一秒と軽自動車最
速となっています。

③ 広い室内
ボディサ
イズはほと
んど変わら
ず、全長・
全幅とも旧
型と同等で、
全高は四〇
ミリ低くなっ
ています。

④ 燃費
直三DOHC(NA)
でリッター二二キロ
(〇・一五モータード)
直三DOHC(ターボ)

⑤ 価格
価格はムーブが八七
八万円(一三五・二万
円、カスタムが二〇九
九万円)一五七・二万
円。最大五万円程度値
上げされています。軽
自動車ということを考
えれば、新ムーブの内
容と購入後のランニン
グコストで納得いた
だけると思います。

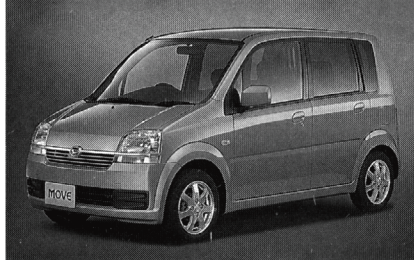
軽自動車の新たな扉
を開いたムーブに注目
してください。

「お問合せ先」
福岡ダイハツ販売
福岡営業所
宗像郡福岡町中央
一八八五
四二二三四



ムーブカスタム

軽自動車を激変させ
た九十八年の軽新規格
導入から早や四年。ワ
ゴンR・ライフ・プレ
オというライバル達が
マイナーチェンジでリ
フレッシュする中、ダ
イハツ「ムーブ」が先陣
を切ってフルモデルチェ
ンジしました。



ムーブ

軽自動車の新たな扉
を開いたムーブに注目
してください。

「お問合せ先」
福岡ダイハツ販売
福岡営業所
宗像郡福岡町中央
一八八五
四二二三四



神郡宗像 末社めぐり

二十七 飯盛明神 (大森神社)

西郷村の條に「大森権
現は上西郷の南にあり。
宇都宮大明神・丹生・
白山也。後に伊豆・箱
根・三島の神を拝殿に
祭る。凡六座也。故に
六社大明神と號す。」
とあり、同附録宗像郡
中の西郷村の條に「古
は屬村大森にあり。故
に大森の號ありと里民
傳へり。享保の末年神
社焼失し、元文二年
(一七三七)今の所に
移せりといふ。」と見
え、同拾遺には「上下
西郷、手光、津丸、久
末等の惣社也。昔は村
の東飯盛山の麓小盛に
在。後に誤りて大森と
いふ。」
ただし同書十九内殿
村の條には、同村飯盛
山の山の頂にある「飯
盛明神社」について
「宗像宮
末社記、
高宮下符
廿五所の
内に飯盛
明神あり」と記され
ており、
明細帳に



よれば、上西郷字ヤケ
ミドウ鎮座の大森神社
(舊村社)としている。
御祭神は、伊弉諾命・
伊弉册命・事代主命・
水象女命・大山祇命・
石長姫命。神社帳によ
ると、もとはの地に鎮
座していたが、嘉元二
甲辰年(一三〇四)河津
駿河守重房が再建、ま
た前出の河津民部興光
が京にて戦功の際に、
大森権現並びに先祖の
守護神伊豆箱根三島明
神の加護有しとして、
御祭神の水象女命以下
三柱を河津駿河守重房
の本國氏神より勧請、
合祀し六座とし、大森
を大守の字に改めて、
大守六社明神と称した。
(現在は大森と表記)
この社は、延元年中に
足利尊氏改建、文明
の頃には大内政弘が祭
祀を興隆したとされて
いる古社である。